2026年11月5日

各　位

会　社　名　　株式会社高知銀行
代表者名　　取締役頭取　河合祐子
（コード番号：8416　東証スタンダード市場）
問合せ先　　執行役員経営統括部長　森本恒司
（電話番号　088-822-9311）

業績予想の再修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2026年８月７日に公表しました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正について

(1) 2027年３月期第２四半期（累計）連結業績予想の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	△160	△240	△29.53
今回発表予想（B）	△339	△222	△27.81
増減額（B-A）	△179	18	
増減率（%）	－	－	
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	705	218	15.74

(2) 2027年３月期第２四半期（累計）個別業績予想の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	△260	△280	△33.48
今回発表予想（B）	△463	△279	△33.42
増減額（B-A）	△203	1	
増減率（%）	－	－	
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	570	177	11.68

２．修正の理由

銀行単体において、2026年11月５日付「債権の取立不能または取立遅延のおそれに関するお知らせ」にて公表した事案により与信費用が予想を上回る見込みとなったことから、2027年３月期第２四半期における経常利益は前回公表値を下回る見込みです。一方、税効果会計に基づく繰延税金資産の回収可能性を再評価した結果、繰延税金資産が追加で計上でき、法人税等調整額が減少することから、中間純利益は前回公表の見通し水準を維持できる見込みです。

なお、金利環境が大きく変化したことに伴い、収益を増加させる主軸を平均残高の増加から利鞘拡大へと見直したことにより、本業である資金利益は概ね計画通り推移しております。

３．通期の業績予想

通期の業績予想につきましては、現時点では前回発表予想から変更いたしておりませんが、市場金利や経済情勢の動向等により業績が大きく変動する可能性がありますので、修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。

※上記の予想数値は、発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上